

令和5年10月27日（金）

あさひの日だまり

NO.25

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～初めての北部音楽会～

ホールに歌声が響きました

10月25日（水）に辰野町民会館において、北部の小学校6年生（川島小学校は全校生徒が参加）が一堂に会し、北部音楽会が開催されました。「昨年度はこの音楽会はなかったな。コロナ感染防止のために中止だったのだろう」と思っていました。当日になって、実は北部の音楽会は今回が初めての開催だということを知りました。南部と中部は以前から行われていることを聞いていましたので、北部でも同様に行われていたのだろうと思っていたのですが、北部は今まで各市町村ごとに開催されていたのだそうです。各学校の音楽科の先生の願い、辰野町民会館の皆様の協力、担当の先生方のご苦勞により、今年度は北部の小学校がこの辰野町に集い歌声を聴き合うことができることとなったとお聞きしました。

当日の朝、ステージの袖を訪ねてみました。各学校の音楽の先生方が直前のご準備をされていました。そこには「初めての取り組みへの緊張感」が張り詰めていました。担当の先生方の表情からもそれがうかがえました。「ぜひ成功して欲しい。」そう思いました。と同時に、主役は子どもたちです。子どもたちの歌声がホールに響き始めれば、そこには

は失敗などという心配の必要はないだろうとも思いました。

同年の仲間の演奏に聞き入る各校の子どもたちの姿勢は本当に素晴らしかったです。ホールが静寂に包まれてみんなの目と耳がステージに集中していました。ステージが子どもたちでいっぱいになる大規模な南箕輪小



学校や箕輪中部小学校の歌声はあふれ出す迫力があり思わず心を奪われました。一人ひとりの表情まで見える小規模な川島小学校の歌う姿には思わず心をひき付けられ目をそらすことができませんでした。それぞれの学校のここまでの練習の成果は「楽しさ」や「緊張」「喜び」といった思いに形を変えて「歌や笛の音」に乗って聞き入る子どもたちや私たちの心へ届きました。本校の6年生の歌声は、音楽会の時よりさらに高音の響きは美しい響きを増し、ハーモニーは澄み渡り、「きれいな歌声だな」と思わず心の中でつぶやくほどでした。座席に戻った子どもたちに思わずそのことを話しかけました。音楽会の開会式であいさつの機会をいただきまして、この音楽会の意味はいろいろあると思いますが、私なりに考えたことをお話しさせていただきました。

皆さんおはようございます。

皆さんが一所懸命に練習してきた大切な音楽をこれから聞かせてもらえることを本当に楽しみにしています。そして、本当にありがたいことだと心から感謝しています。

ここに集まった皆さんは、この先ともに中学へ進学し、ともに高校を受験し、そしてともに社会へ旅立っていくことになるかけがえのない仲間です。やがて一生の友だちをここにいる誰かと創ることとなるのだろうと思うのです。お互いを高め合うような素晴らしいライバルもきっとこのホールのどこかにいるに違いありません。そんな仲間たちと、今日初めて同じ場所で同じ時間を送ることになります。ぜひ歌を通して感動を分かち合うことができるこれらの時間を共に楽しんで欲しいと思います。

このステージに上ると、きっと緊張すると思います。でも、目の前で聞いてくれているのはこれからの時間を共に生きていく皆さんの仲間です。緊張する思いも一緒に楽しんで欲しいなと思います。

さあみなさん、素敵な時間をみんなで創っていきましょう。

～マラソン大会が迫っています～

練習頑張れ！

「先生もう30週走ったよ！」「私まだ全然走ってない」そんなことを昇降口で話してくれる子どもたちがいます。教室にカバンを置くやいなや昇降口から駆け出していく子どもたちの背中に「マラソンの練習？」と声をかけると。「うん」と元気に走りながら答えてくれます。「あ～マラソン大会が迫っているんだな」と子どもたちの姿から感じています。

これから体育で持久走の練習に行くクラスの子どもたちに聞いてみました。「マラソンの練習楽しみな人？」「やだな～って思う人？」手の挙がり具合はご想像にお任せしたいと思います。

多くの子どもたちが「マラソン大会楽しみだな～」という具合になれたらいいなと思っています。私は水泳は大の苦手でしたが、走ることはそれほど嫌いではありませんでした。ただ順位がつくということになるとはやっぱり限界に向かって走るので、苦しくて、走る前は「早く終わらないかな～」という気持ちが湧きあがってきてしまいました。子どもたちにとっても走ることは決して楽しいことではありません。練習も当日も、子どもたちは必死に走るのですが、

その先にあるものを楽しみだとか喜びだとか満足感だとかいったものとしてとらえられるようにしてあげたいと思っています。

相手との勝負にだけ意識が向くとそれはなかなかつらい戦いとなってしまいます。前の自分の記録との勝負ということになれば少し気は楽になりますが、そうはいっても走ることを楽しむという具合にはなかなかないかもしれません。子どもたちが「よしがんばろう！」という気持ちになれるようなお話を考えるのですが……。もう少し考えてみたいと思います。



朝、教室の窓から頑張っている子どもたちの姿が見えます

～インフルエンザがはやっていきます～

現在一クラスが学級閉鎖です

それまでも少しずつインフルエンザでお休みの児童はいましたが、26日（木）になって、一つのクラスが急に発熱による欠席が増えました。うち数名がインフルエンザという診断を受けお休みでした。近隣の学校ではインフルエンザがはやり、学級閉鎖になっているという話を以前から聞いていましたが、なんとなく他人事のように聞いていました。いざ自分の学校がそうになると、熱を出して大変な思いをしているだろう子どもたちの顔が浮かんできて、大変な思いをしているだろうと心配になって、急に自分ごとに引き戻されました。

教育委員会へ相談したところ、近隣の学校の様子。発熱の多い学級の子どもたちの様子等、総合的に判断し学級閉鎖の判断をしていただきました。発熱が続いている学級の状況を考えて自宅で療養するように配慮していただけたことに感謝の気持ちです。

それぞれのご家庭では、保護者がお仕事をされていて子どもだけの生活になるような場合もあると思います。お子様のことが心配であるに違いありません。色々とお配慮いただいていることを思うと申し訳ない気持ちになります。子どもたちには、少しでも早く熱が下がって元気になって欲しいと願います。そして、感染のペースが早く落ち着いてほしいと思います。月曜日にはぜひ全校がそろえますようにと願っています。

机といすが元気な子どもたちが返ってきてくれることを待っています。



～あさひの時間に健康増進の活動～

4年1組頑張っています

4年1組はあさひの時間に福祉に関する取り組みをしています。その活動の一環で「辰野町の皆さんに健康になって欲しい」という願いを持ち「スポーツ大会」を企画しました。当日は地域の方も数名来校して下さり、子どもたちと楽しい時間を過ごしてもらえました。子どもたちが考えることって私たちの想像を超えていて、すごいなと思います。あさひの時間の活動がこうして輪を広げていってくれることがとても嬉しいです。参加して下さった地域の皆様本当にありがとうございました。

